



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月7日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東
 コード番号 5852 URL https://www.ahresty.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高橋 新一 TEL 03-6369-8660
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	35,429	△0.2	596	△52.5	490	△59.8	776	△8.8
2018年3月期第1四半期	35,494	3.6	1,255	△46.4	1,222	△41.5	850	△45.6

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △360百万円 (-%) 2018年3月期第1四半期 25百万円 (-%)

(参考) EBITDA 2019年3月期第1四半期 4,386百万円 (△11.5%) 2018年3月期第1四半期 4,958百万円 (△14.7%)

(※) EBITDA=営業利益+減価償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	30.00	29.68
2018年3月期第1四半期	32.91	32.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	136,864	64,716	47.1
2018年3月期	137,751	65,439	47.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 64,528百万円 2018年3月期 65,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	12.00	-	14.00	26.00
2019年3月期	-	-	-	-	-
2019年3月期 (予想)	-	12.00	-	14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	74,100	4.9	2,300	32.7	2,000	26.7	1,400	11.5	54.12
通期	152,000	4.7	5,800	22.9	5,300	19.5	3,600	4.3	139.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	26,027,720株	2018年3月期	26,027,720株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	160,496株	2018年3月期	160,364株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	25,867,356株	2018年3月期1Q	25,848,678株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の持ち直しや設備投資の緩やかな増加の動きがみられ、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調が続いております。米国では景気は着実に回復が続いており、アジアにおいては、中国の景気は持ち直しの動きがみられ、インドは内需を中心に景気が緩やかに拡大し、世界の景気は緩やかに回復しております。

こうした中で、当社グループの売上高はアジアセグメントを中心に受注量は増加した一方、日本セグメントでは前連結会計年度に行った連結子会社5社の決算期変更の影響及び北米市場向けの自動車輸出量が減少したことによる受注量の減少等により減収となった結果、連結全体では前第1四半期連結累計期間と同程度となりました。利益面については、日本セグメントの減益影響により連結全体では営業利益は減益となりましたが、投資有価証券売却益の計上もあり親会社株主に帰属する四半期純利益は前第1四半期連結累計期間と同程度に留まりました。

当社グループでは今期最終年度となる1618中期経営計画に基づく施策展開を着実に進めるとともに、生産性や収益性の改善に努めてまいります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

日本自動車市場では、国内販売は昨年比で概ね横ばいの推移となっておりますが、北米での乗用車需要の減少により、当社主要顧客である自動車メーカーにおける輸出向け生産の一部が減少しております。これにより当社受注量も前年同四半期に比べて減少し、売上高は16,242百万円(前年同四半期比3.6%減)となりました。収益面においては、64百万円(前年同四半期はセグメント利益404百万円)のセグメント損失となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米自動車市場は、主要顧客である自動車メーカーの販売がピークアウトを迎える中、乗用車がシェアを縮小する一方で、小型トラックのシェア拡大が顕著となっております。当社米国工場においても、小型トラック搭載部品の受注量は好調ですが、昨年の一部部品の生産終了の影響から前年同四半期に比べ受注は減少しました。引き続き当社では改善プロジェクト活動により生産性回復を図っております。一方のメキシコでは、新規部品の量産本格化により受注量が増加しました。この結果、北米セグメントでの売上高は10,489百万円(前年同四半期比0.4%増)となり、セグメント利益は390百万円(前年同四半期比2.5%増)となりました。

③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、SUVを中心とした販売拡大が続いており、当社においても関連部品の受注が好調に推移しております。またインドでも、自動車市場の拡大が続いている中で、当社の受注量も増加しております。こうした受注増の影響に加え、両国でのアルミ地金市況上昇を受け、アジアでの売上高は7,220百万円(前年同四半期比8.5%増)となりました。一方でセグメント利益は顧客からのコストダウン協力等の影響を受け322百万円(前年同四半期比11.4%減)となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、販売量は前年同四半期に比べ減少しましたが、アルミ地金市況の影響により売上高は1,186百万円(前年同四半期比7.2%増)となりました。収益面においては原価低減活動を推進しておりますが、原材料上昇の影響により原価高となり、セグメント利益は25百万円(前年同四半期比54.6%減)となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等において一部工事が第2四半期にずれ込んだ影響もあり、売上高は289百万円(前年同四半期比33.4%減)となりました。収益面においては、工事の時期ズレによる影響等により、セグメント損失は15百万円(前年同四半期はセグメント利益53百万円)となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は136,864百万円となり、前連結会計年度末に比べ887百万円の減少となりました。流動資産は42,613百万円で、前連結会計年度末に比べ111百万円の減少となり、その主な要因は現金及び預金が1,186百万円、たな卸資産が563百万円増加した一方、売上債権が2,039百万円減少したことによるものです。固定資産は94,250百万円で、前連結会計年度末に比べ776百万円の減少となり、主な要因は有形固定資産の減少1,122百万円によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は72,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ164百万円の減少となりました。流動負債は48,305百万円で、前連結会計年度末に比べ671百万円の減少となり、その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が620百万円、賞与引当金が700百万円、流動負債その他に含まれている未払建設金が517百万円増加した一方、仕入債務が677百万円及び短期借入金が1,939百万円減少したことによるものです。固定負債は23,843百万円となり、前連結会計年度末に比べ506百万円の増加となり、その主な要因は、固定負債その他に含まれる長期繰延税金負債が419百万円減少した一方、長期借入金が909百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は64,716百万円となり、前連結会計年度末に比べ723百万円の減少となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が413百万円増加した一方、為替換算調整勘定が925百万円減少したことによるものです。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末47.4%から47.1%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は、2018年5月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,630	3,817
受取手形及び売掛金	24,783	22,583
電子記録債権	2,902	3,061
商品及び製品	3,232	3,591
仕掛品	4,890	5,146
原材料及び貯蔵品	3,208	3,156
その他	1,090	1,257
貸倒引当金	△13	△1
流動資産合計	42,724	42,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,805	14,452
機械装置及び運搬具(純額)	43,778	42,921
土地	5,425	5,409
建設仮勘定	10,556	10,517
その他(純額)	8,317	8,458
有形固定資産合計	82,882	81,759
無形固定資産	1,786	1,985
投資その他の資産		
投資有価証券	8,266	7,942
その他	2,115	2,589
貸倒引当金	△24	△25
投資その他の資産合計	10,357	10,505
固定資産合計	95,026	94,250
資産合計	137,751	136,864
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,413	12,569
電子記録債務	7,882	8,048
短期借入金	5,307	3,368
1年内返済予定の長期借入金	10,109	10,729
未払法人税等	1,032	1,187
賞与引当金	2,157	2,858
役員賞与引当金	15	—
製品保証引当金	87	86
その他	8,971	9,455
流動負債合計	48,976	48,305
固定負債		
長期借入金	16,136	17,046
長期末払金	589	588
退職給付に係る負債	2,867	2,901
その他	3,743	3,306
固定負債合計	23,336	23,843
負債合計	72,312	72,148

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,939	6,939
資本剰余金	10,180	10,180
利益剰余金	40,272	40,686
自己株式	△238	△238
株主資本合計	57,153	57,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,335	4,112
為替換算調整勘定	4,168	3,243
退職給付に係る調整累計額	△406	△394
その他の包括利益累計額合計	8,098	6,961
新株予約権	187	187
純資産合計	65,439	64,716
負債純資産合計	137,751	136,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	35,494	35,429
売上原価	31,129	31,978
売上総利益	4,365	3,451
販売費及び一般管理費	3,110	2,854
営業利益	1,255	596
営業外収益		
受取利息	5	21
受取配当金	61	72
為替差益	30	—
スクラップ売却益	26	32
その他	33	28
営業外収益合計	156	154
営業外費用		
支払利息	177	160
為替差損	—	87
その他	12	12
営業外費用合計	189	260
経常利益	1,222	490
特別利益		
固定資産売却益	3	7
投資有価証券売却益	—	301
補助金収入	5	10
保険差益	48	—
特別利益合計	57	318
特別損失		
固定資産除売却損	42	33
製品保証費用	162	—
借入金繰上返済費用	—	152
特別損失合計	204	186
税金等調整前四半期純利益	1,075	623
法人税、住民税及び事業税	1,168	637
法人税等調整額	△943	△790
法人税等合計	224	△152
四半期純利益	850	776
親会社株主に帰属する四半期純利益	850	776

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	850	776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109	△223
為替換算調整勘定	△948	△925
退職給付に係る調整額	14	11
その他の包括利益合計	△824	△1,136
四半期包括利益	25	△360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25	△360
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債は双方を相殺して表示することから、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が251百万円増加しており、「流動資産」の「繰延税金資産」が1,498百万円、「固定負債」の「繰延税金負債」が1,246百万円減少しております。以上により、総資産が1,246百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	16,852	10,443	6,655	1,107	435	35,494
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,246	—	365	1,109	7	2,728
計	18,099	10,443	7,021	2,216	442	38,222
セグメント利益	404	381	364	56	53	1,259

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,259
セグメント間取引消去	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	1,255

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	16,242	10,489	7,220	1,186	289	35,429
セグメント間の内部売上高又は振替高	968	1	535	1,327	1	2,834
計	17,211	10,490	7,756	2,513	291	38,263
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△64	390	322	25	△15	659

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	659
セグメント間取引消去	△62
四半期連結損益計算書の営業利益	596

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。